

西東京市

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）

策定のためのアンケート調査報告書（概要版）

平成26年3月

西東京市

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、西東京市の高齢者等の生活実態及び西東京市で介護保険サービスを提供している事業所の実態を把握し、平成 26 年度に策定を予定している「西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 6 期）（平成 27 年度～平成 29 年度）」の基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 調査の種類と対象者

本調査では、以下の 10 種類の調査を実施した。

調査種別	対象者	対象数
①高齢者一般調査	市内の介護保険第 1 号被保険者（二次予防事業対象者、要支援・要介護認定者を除く）	3,000 人
②若年者一般調査	市内在住の 55 歳～64 歳の人（要支援・要介護認定者を除く）	1,500 人
③二次予防事業対象者調査	市内在住の第 1 号被保険者で二次予防事業対象者の人	200 人
④介護保険居宅サービス利用者調査	市の要支援・要介護認定を受けている人のうち、居宅サービスを利用している人	1,500 人
⑤介護保険施設サービス利用者調査	市の要支援・要介護認定を受けている人のうち、介護保険施設、認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）、有料老人ホーム等に入所されている人	500 人
⑥介護保険サービス未利用者調査	市の要支援・要介護認定を受けている人のうち、介護保険サービスを利用していない人	500 人
⑦介護保険サービス事業者調査	西東京市介護保険連絡協議会参加事業者および市内地域包括支援センター	150 事業所
⑧介護支援専門員調査	西東京市介護保険連絡協議会参加事業者の介護支援専門員	120 人
⑨在宅医療と介護に関する調査	市の要介護認定を受けている人のうち、平成 25 年 11 月に介護保険の訪問看護を利用していた 40 歳以上の市内在住者	300 人
⑩日常生活圏域ニーズ調査	市内在住の 65 歳以上の人	1,200 人
		8,970 件

(3) 調査方法と調査時期

調査方法は、郵送配布・郵送回収（礼状督促1回送付）により実施した。
アンケートによる実施時期は、平成26年2月10日（月）～2月24日（月）である。

(4) 回収状況

回収状況は以下のとおりである。

調査種別	配布数 A	回収数 B	回収率 C (B/A)	有効票 D	有効回収率 E (D/A)
①高齢者一般調査	3,000	2,046	68.2%	2,039	68.0%
②若年者一般調査	1,500	777	51.8%	775	51.7%
③二次予防事業対象者調査	200	140	70.0%	140	70.0%
④介護保険居宅サービス利用者調査	1,500	956	63.7%	933	62.2%
⑤介護保険施設サービス利用者調査	500	240	48.0%	227	45.4%
⑥介護保険サービス未利用者調査	500	289	57.8%	260	52.0%
⑦介護保険サービス事業者調査	150	90	60.0%	90	60.0%
⑧介護支援専門員調査	120	73	60.8%	73	60.8%
⑨在宅医療と介護に関する調査	300	183	61.0%	171	57.0%
⑩日常生活圏域ニーズ調査	1,200	852	71.0%	848	70.7%
合計	8,970	5,646	62.9%	5,556	61.9%

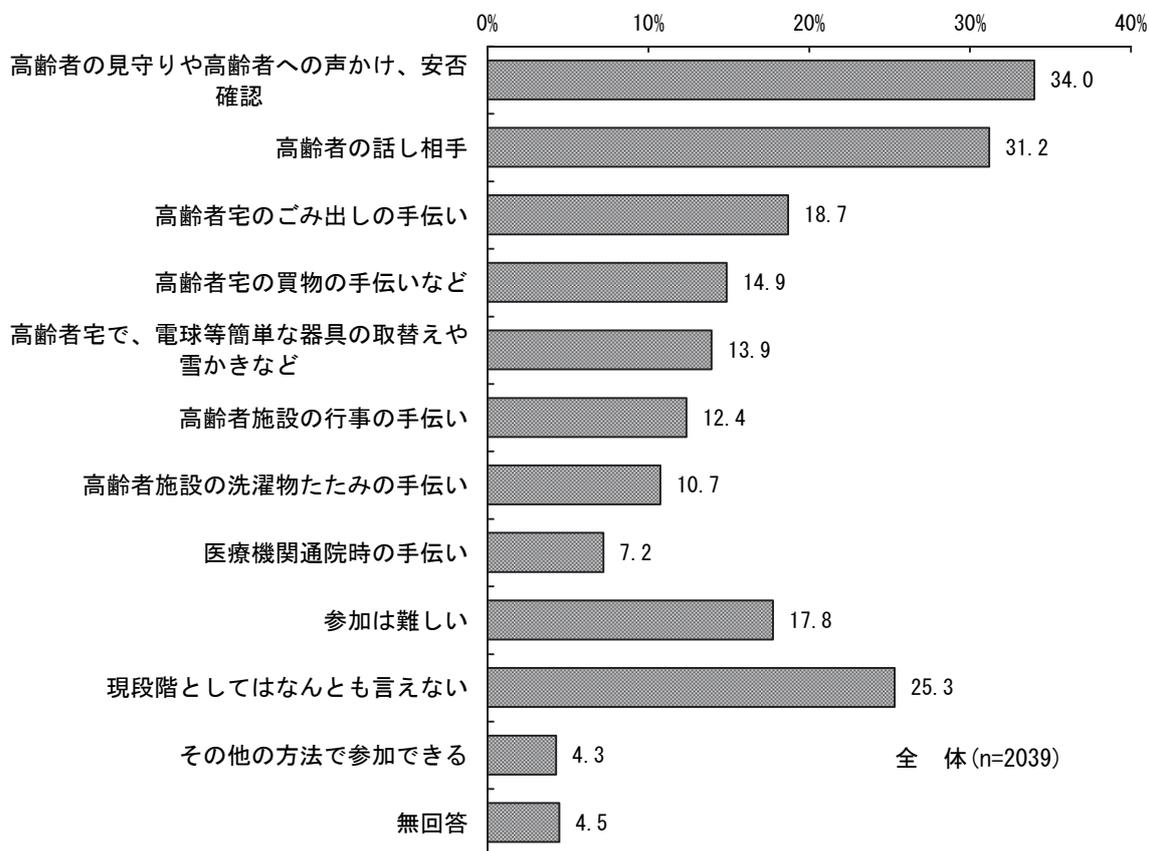
(5) 概要版を利用するにあたって

- 図・表中のnとは、基数となる実数のことである。
- 回答はnを100%として百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- 図・表中の―は回答者が皆無のものである。
- 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。
- 図・表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。

2. 高齢者一般調査

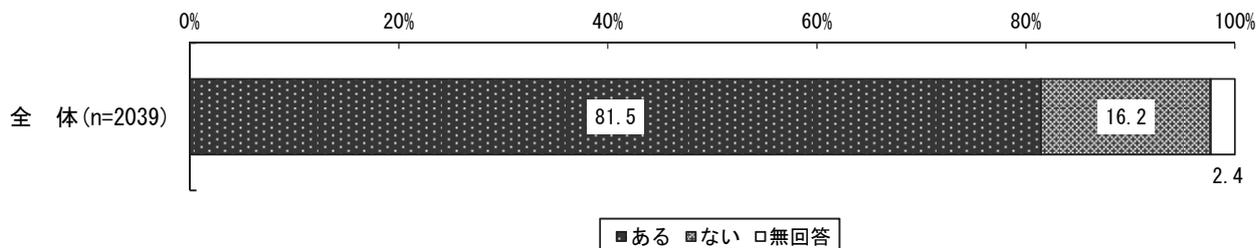
① 参加できる地域活動（複数回答）

参加できる地域活動は、「高齢者の見守りや高齢者への声かけ、安否確認」が最も多く 34.0%、「高齢者の話し相手」（31.2%）が続いている。また、「参加は難しい」は 17.8%である。



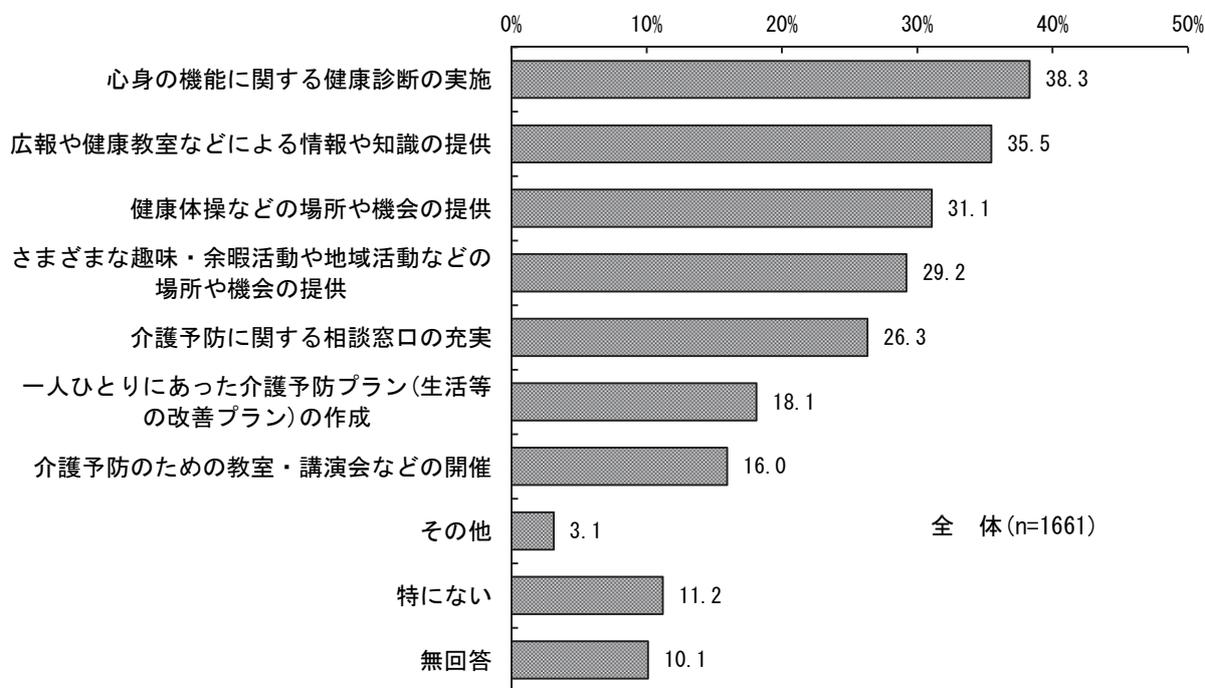
② 体調を維持するために行っていることの有無

体調を維持するために行っていることの有無は、「ある」が 81.5%、「ない」が 16.2%となっている。



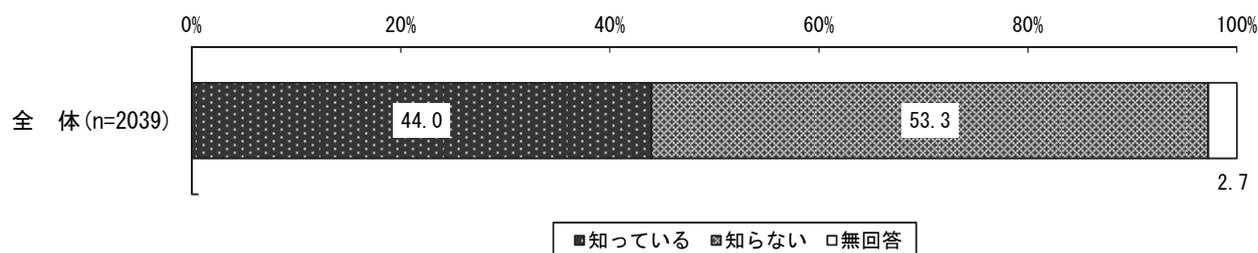
③ 健康な生活を送るために市から支援してほしいこと（複数回答）

体調を維持するために行っていることがある人に、健康な生活を送るために市から支援してほしいことをたずねたところ、「心身の機能に関する健康診断の実施」が最も多く 38.3%、「広報や健康教室などによる情報や知識の提供」（35.5%）、「健康体操などの場所や機会の提供」（31.1%）が続いている。



④ 地域包括支援センターの認知

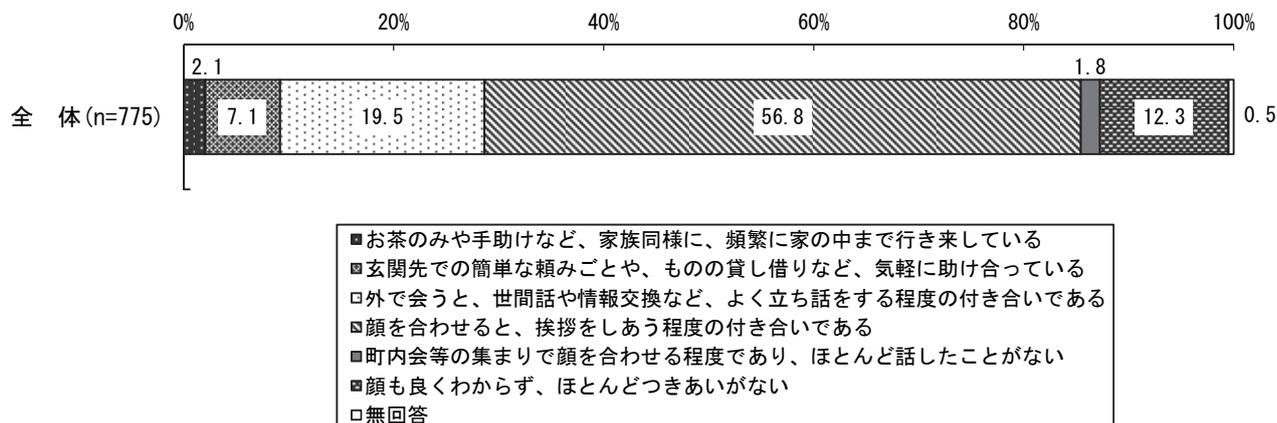
地域包括支援センターの認知は、「知っている」が 44.0%、「知らない」が 53.3%となっている。



3. 若年者一般調査

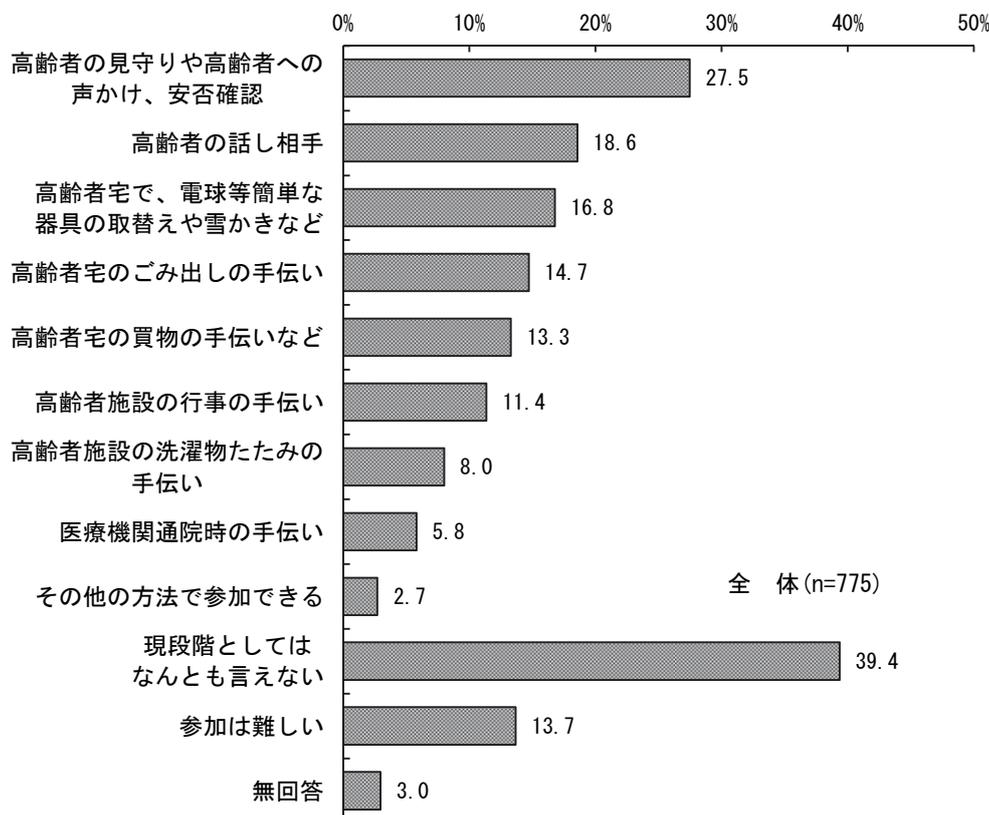
① 近所づきあいの程度

近所づきあいの程度は、「顔を合わせると、挨拶をしあう程度」が最も多く 56.8%、次いで「外で会うと、世間話や情報交換など、よく立ち話をする程度」が 19.5%、「顔も良くわからず、ほとんどつきあいが無い」が 12.3%、「玄関先での簡単な頼みごとや、ものの貸し借りなど、気軽に助け合っている」が 7.1%となっている。



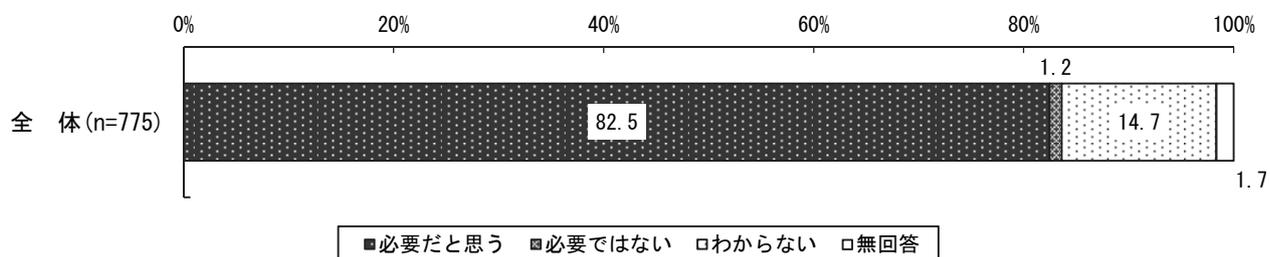
② 参加できる地域活動（複数回答）

参加できる地域活動は、「高齢者の見守りや高齢者への声かけ、安否確認」が最も多く 27.5%、「高齢者の話し相手」(18.6%)、「高齢者宅で、電球等簡単な器具の取替えや雪かきなど」(16.8%)が続いている。



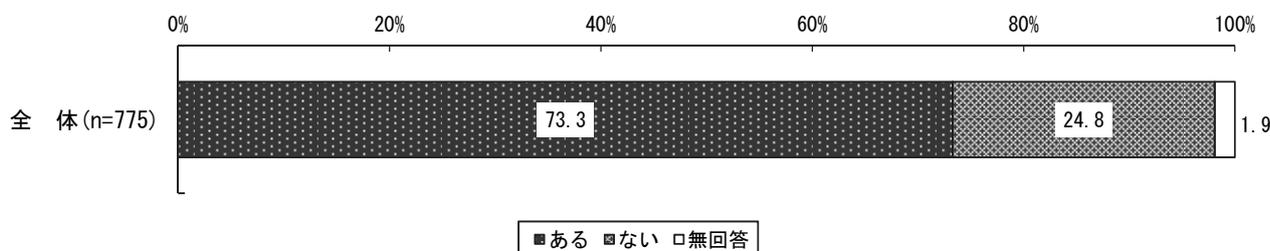
③ ボランティア活動の必要性

ボランティア活動の必要性は、「必要だと思う」が 82.5%、「必要ではない」が 1.2%、「わからない」が 14.7%となっている。



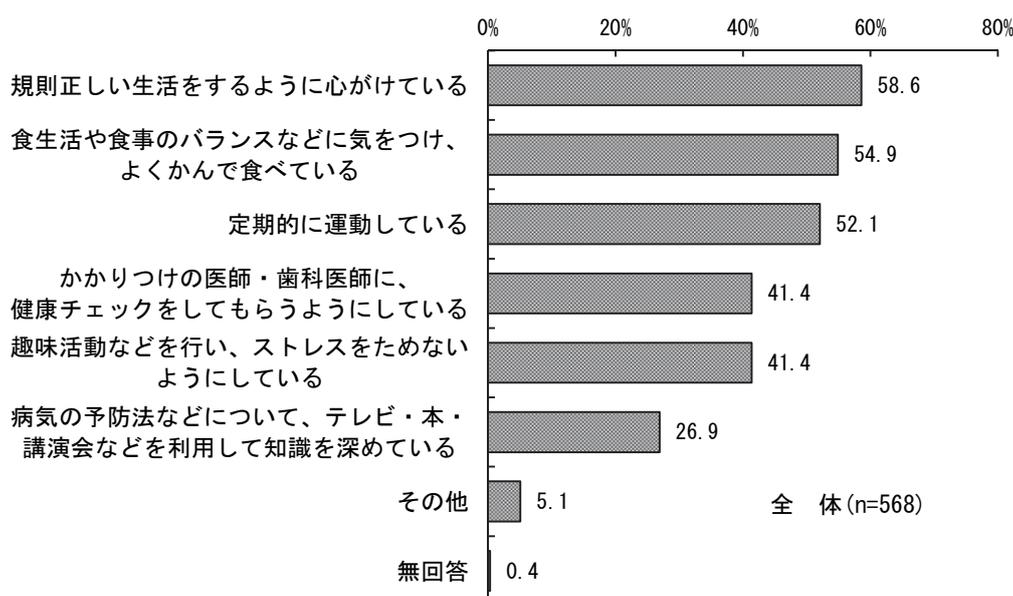
④ 体調を維持するために行っていることの有無

体調を維持するために行っていることの有無は、「ある」が 73.3%、「ない」が 24.8%となっている。



⑤ 体調を維持するために行っていること（複数回答）

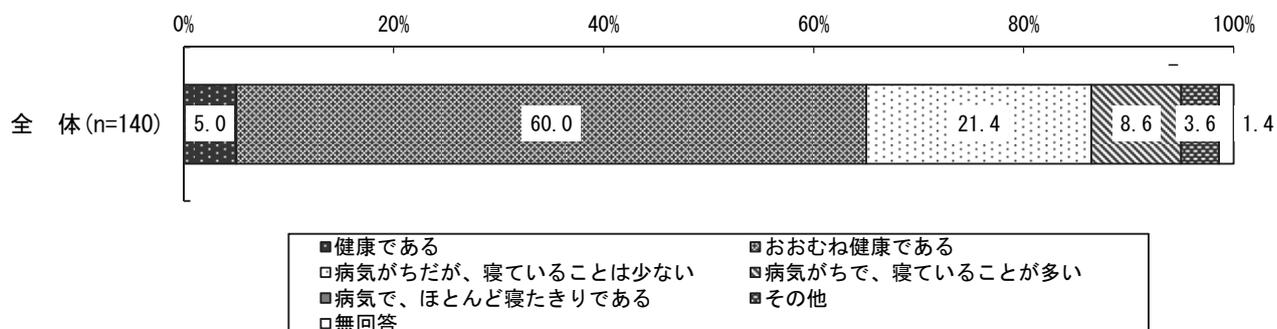
体調を維持するために行っていることがある人に、その内容をたずねたところ、「規則正しい生活をするように心がけている」が最も多く 58.6%、「食生活や食事のバランスなどに気をつけ、よくかんで食べている」（54.9%）、「定期的に運動している」（52.1%）が続いている。



4. 二次予防事業対象者調査

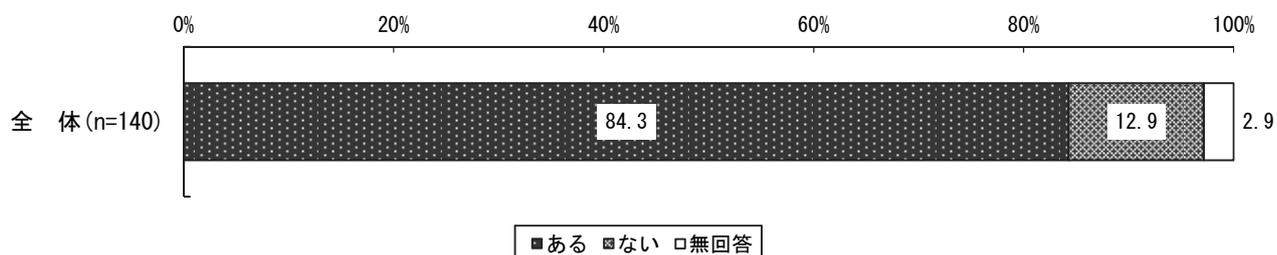
① 主観的健康感

主観的健康感は、「健康である」(5.0%)と「おおむね健康である」(60.0%)を合計すると《健康》は65.0%となっている。「病気がちだが、寝ていることは少ない」が21.4%、「病気がちで、寝ていることが多い」が8.6%となっている。



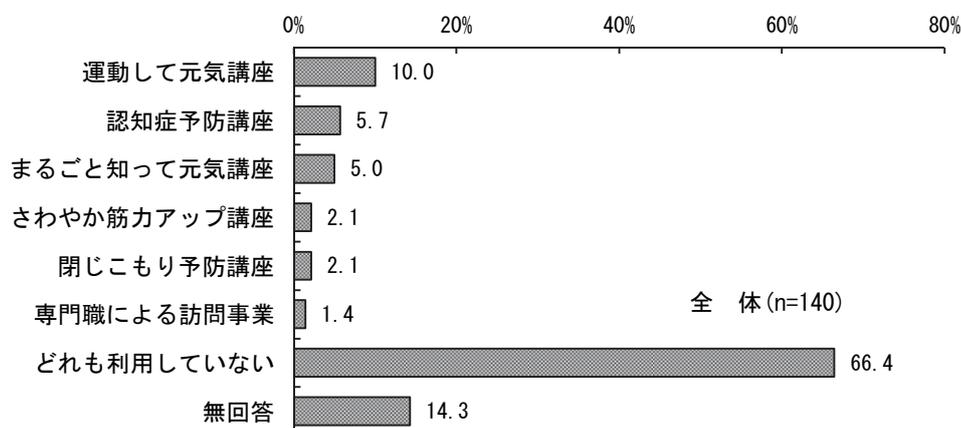
② 体調を維持するために行っていることの有無

体調を維持するために行っていることの有無は、「ある」が84.3%、「ない」が12.9%となっている。



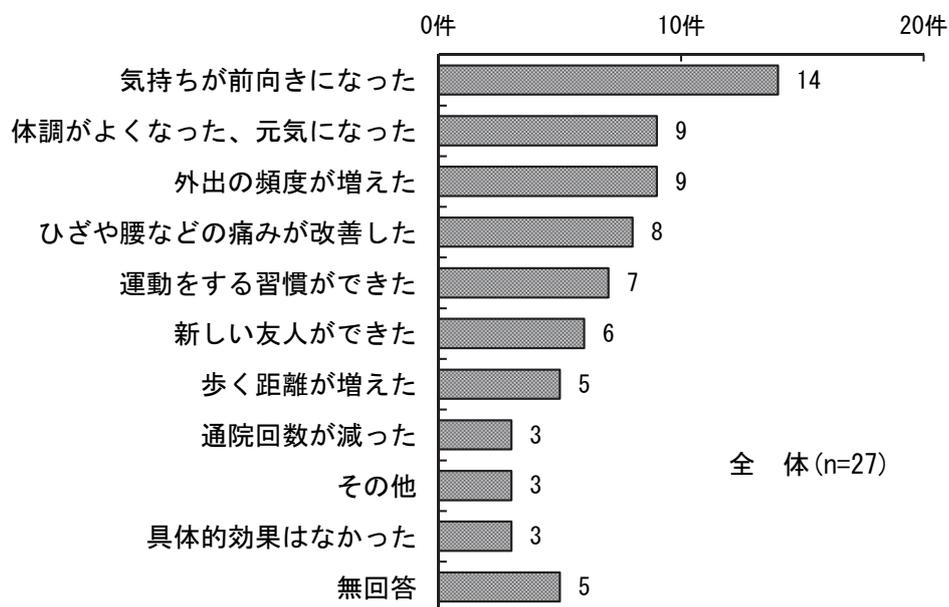
③ 介護予防サービスの利用状況（複数回答）

介護予防サービスの利用状況は、「運動して元気講座」が最も多く10.0%、「認知症予防講座」(5.7%)、「まるごと知って元気講座」(5.0%)が続いている。



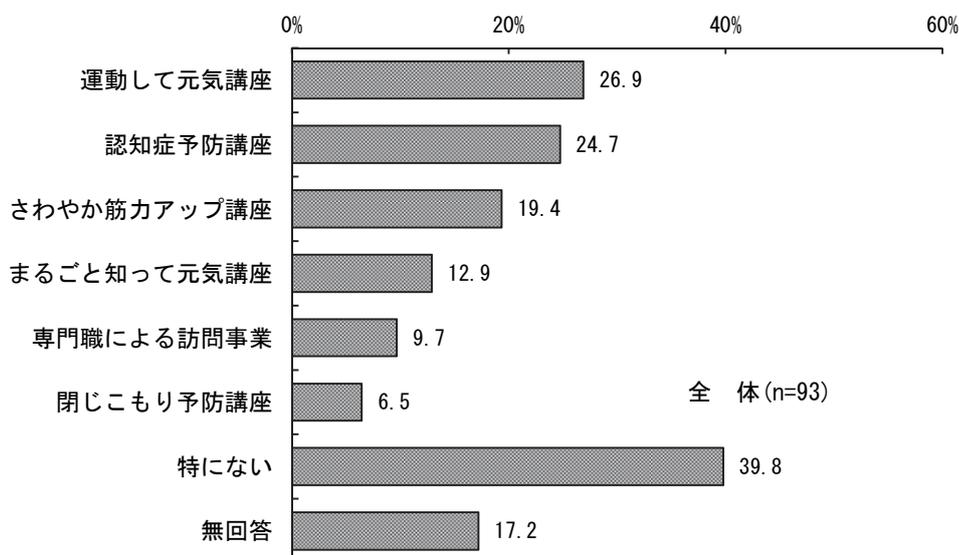
④ 利用後の生活や気持ちの変化（複数回答）

介護予防サービスを利用した人に、生活や気持ちの変化があったかたずねたところ、「気持ちが前向きになった」が最も多く14件、「体調がよくなった、元気になった」「外出の頻度が増えた」（ともに9件）が続いている。



⑤ 今後の介護予防サービスの利用意向（複数回答）

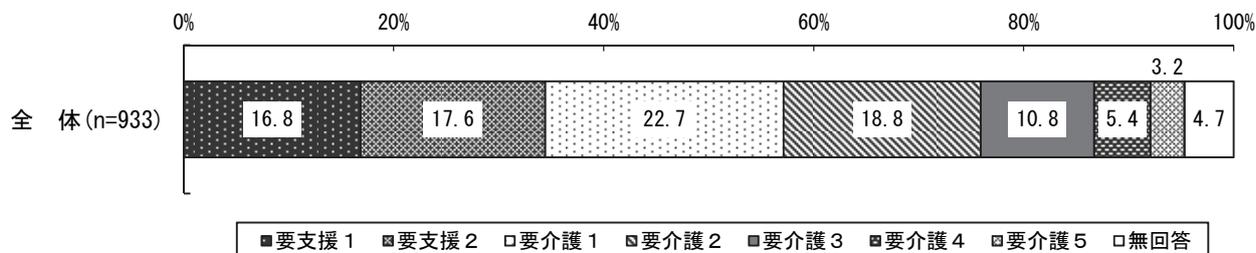
介護予防サービスを「どれも利用していない」と回答した人に、今後の利用意向をたずねたところ、「運動して元気講座」が最も多く26.9%、「認知症予防講座」（24.7%）、「さわやか筋力アップ講座」（19.4%）が続いている。



5. 介護保険居宅サービス利用者調査

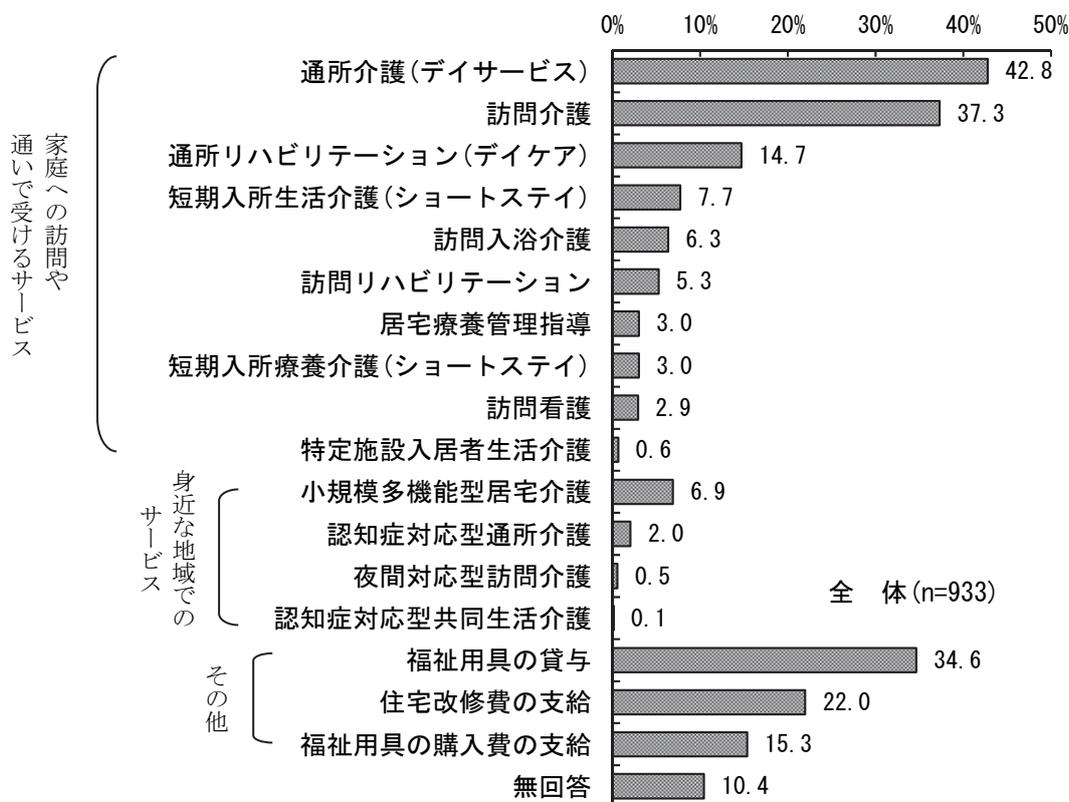
① 要介護度（平成 26 年 2 月現在）

現在の要介護度は、「要介護 1」が 22.7%と最も多く、「要介護 2」(18.8%)、「要支援 2」(17.6%)、「要支援 1」(16.8%)、「要介護 3」(10.8%)、「要介護 4」(5.4%)、「要介護 5」(3.2%)と続いている。



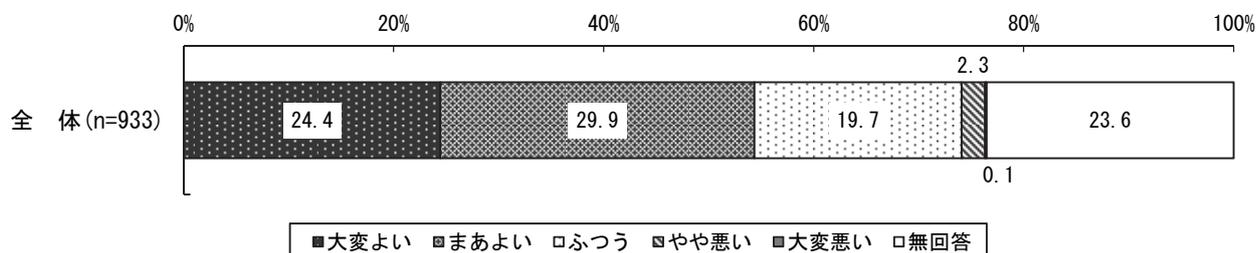
② 利用している介護保険サービス（複数回答）

利用している介護保険サービスは、「通所介護（デイサービス）」が最も多く 42.8%、「訪問介護」（37.3%）、「福祉用具の貸与」（34.6%）が続いている。



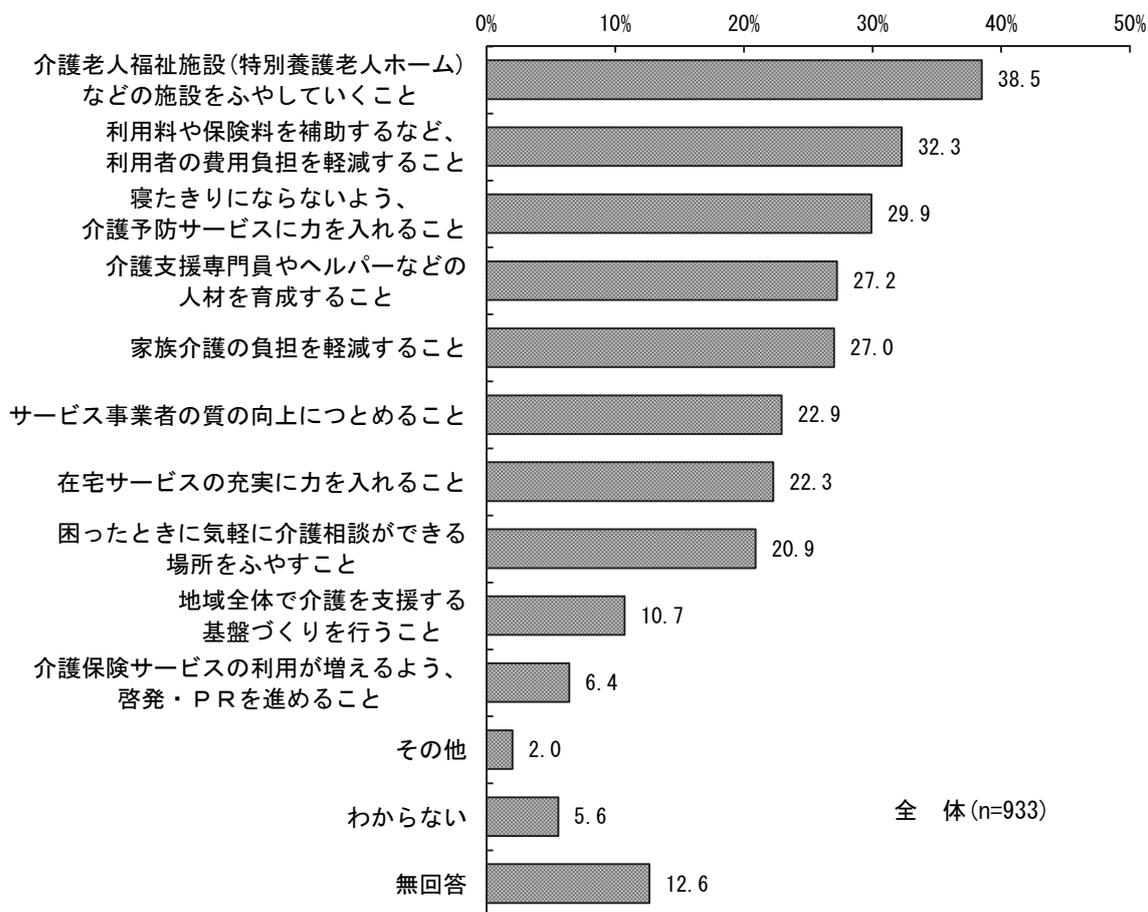
③ 居宅サービスの満足度

居宅サービスの満足度は、「大変よい」が24.4%、「まあよい」が29.9%、「ふつう」が19.7%、「やや悪い」が2.3%、「大変悪い」が0.1%となっている。



④ 介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと（複数回答（3つまで））

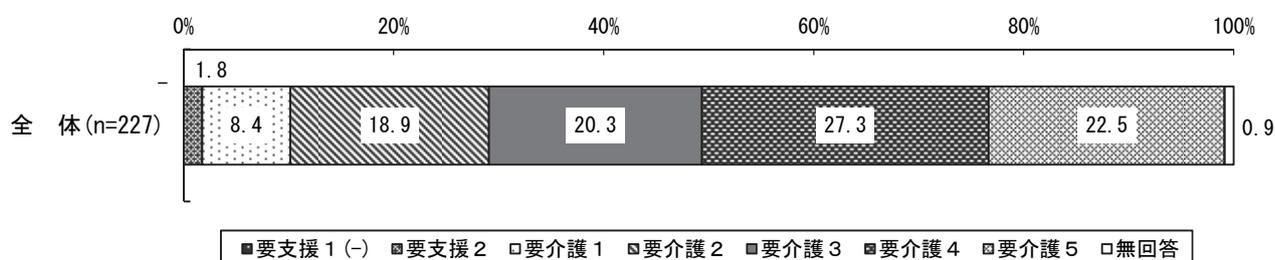
介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきことは、「介護老人福祉施設などの施設をふやしていくこと」が最も多く38.5%、次いで「利用者の費用負担を軽減すること」(32.3%)、「寝たきりにならないよう、介護予防サービスに力を入れること」(29.9%)、「介護支援専門員やヘルパーなどの人材を育成すること」(27.2%)、「家族介護の負担を軽減すること」(27.0%)が続いている。



6. 介護保険施設サービス利用者調査

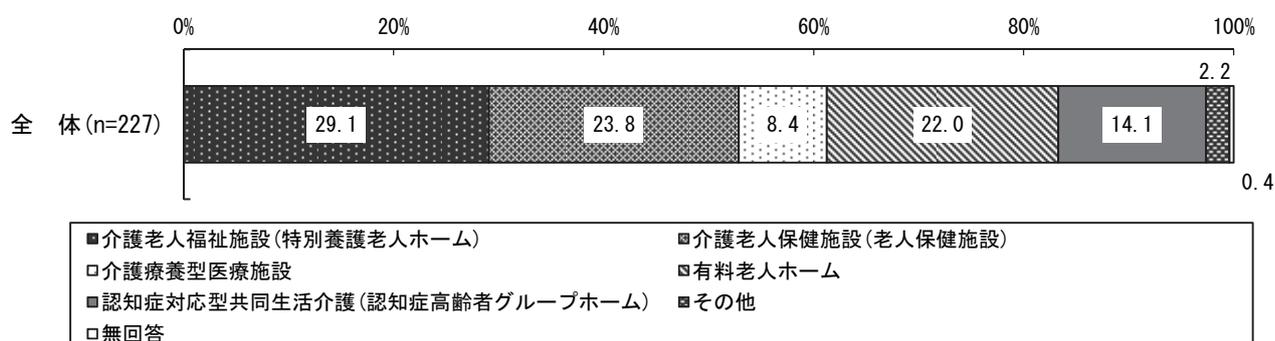
① 要介護度（平成 26 年 2 月現在）

現在の要介護度は、「要介護 4」が 27.3%と最も多く、「要介護 5」(22.5%)、「要介護 3」(20.3%)、「要介護 2」(18.9%)、「要介護 1」(8.4%)、「要支援 2」(1.8%)と続いている。



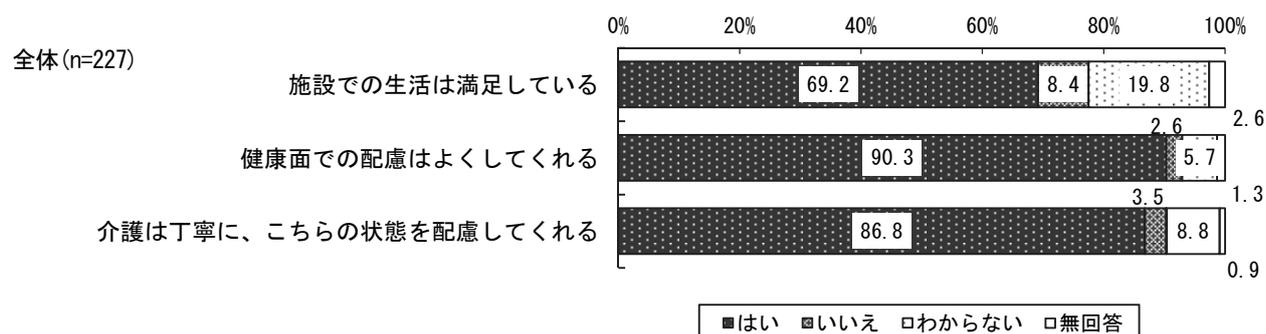
② 入所施設の種類

入所施設の種類は、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も多く 29.1%、「介護老人保健施設（老人保健施設）」(23.8%)、「有料老人ホーム」(22.0%)、「認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）」(14.1%)が続いている。



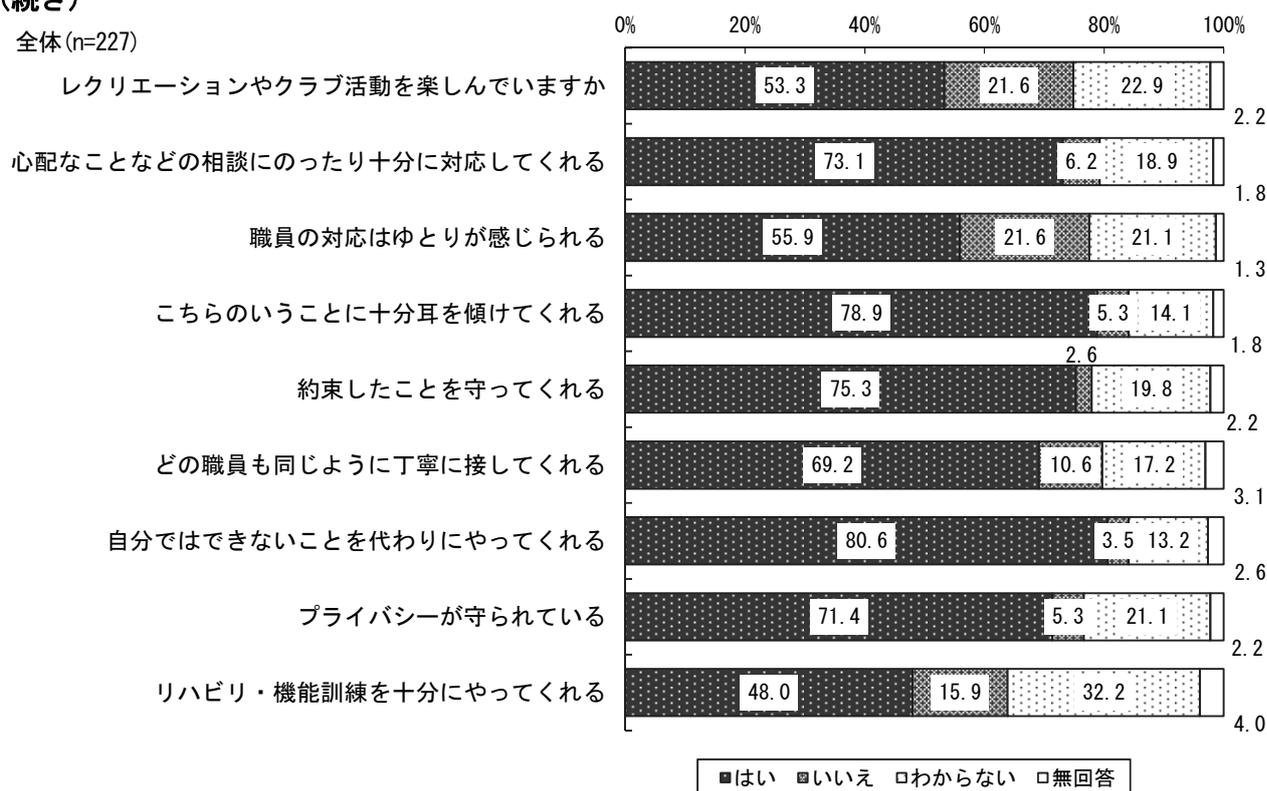
③ 入所している施設の評価

入所している施設の評価は、「はい」の割合は『健康面での配慮はよくしてくれる』が最も多く 90.3%、『介護は丁寧に、こちらの状態を配慮してくれる』(86.8%)、『自分ではできないことを代わりにやってくれる』が 80.6%となっている。



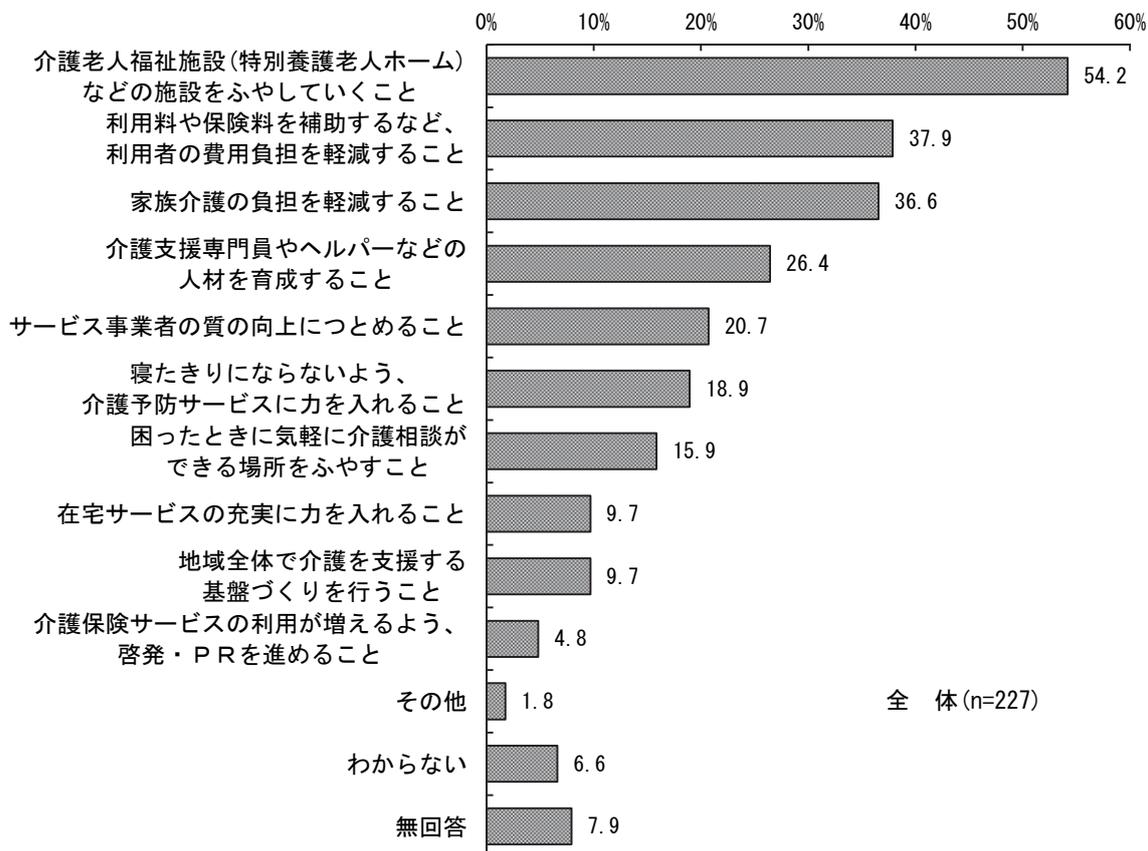
(続き)

全体 (n=227)



④ 介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと (複数回答 (3つまで))

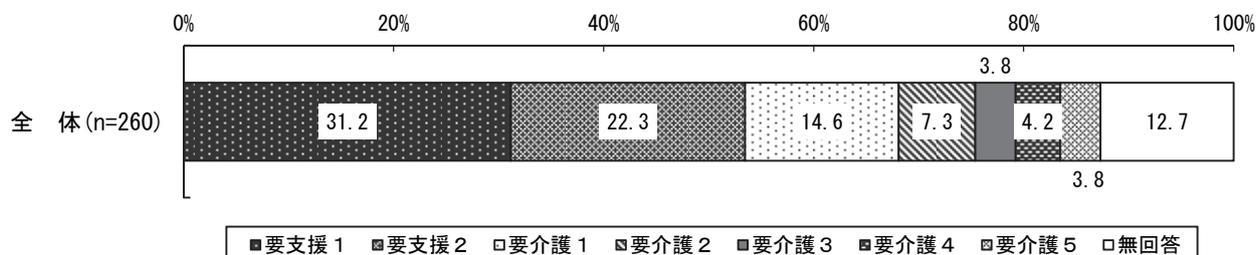
介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきことは、「介護老人福祉施設などの施設をふやしていくこと」が最も多く 54.2%、次いで「利用者の費用負担を軽減すること」(37.9%)、「家族介護の負担を軽減すること」(36.6%)、「介護支援専門員やヘルパーなどの人材を育成すること」(26.4%)、「サービス事業者の質の向上につとめること」(20.7%)が続いている。



7. 介護保険サービス未利用者調査

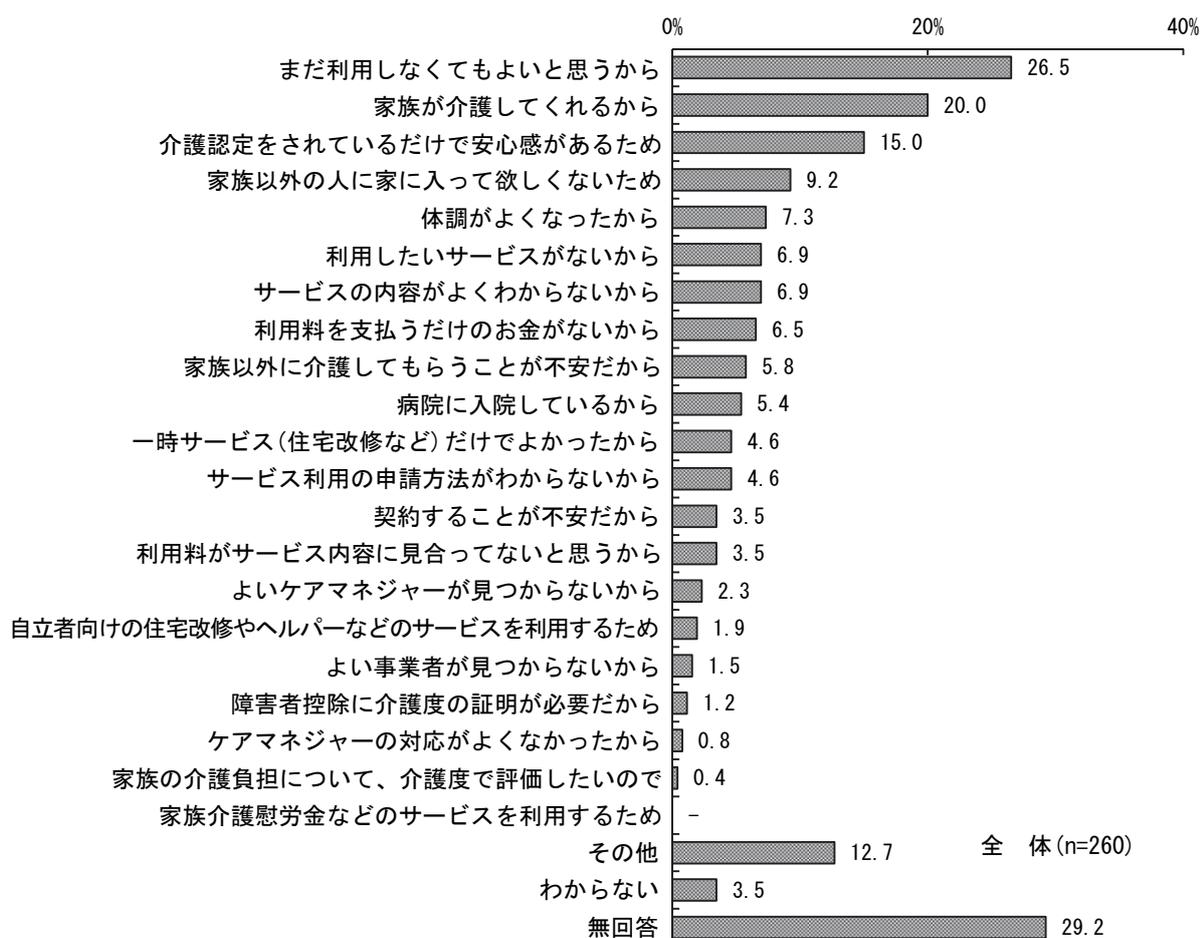
① 要介護度（平成26年2月現在）

現在の要介護度は、「要支援1」が31.2%と最も多く、「要支援2」(22.3%)、「要介護1」(14.6%)、「要介護2」(7.3%)、「要介護4」(4.2%)、「要介護3」「要介護5」(ともに3.8%)が続いている。



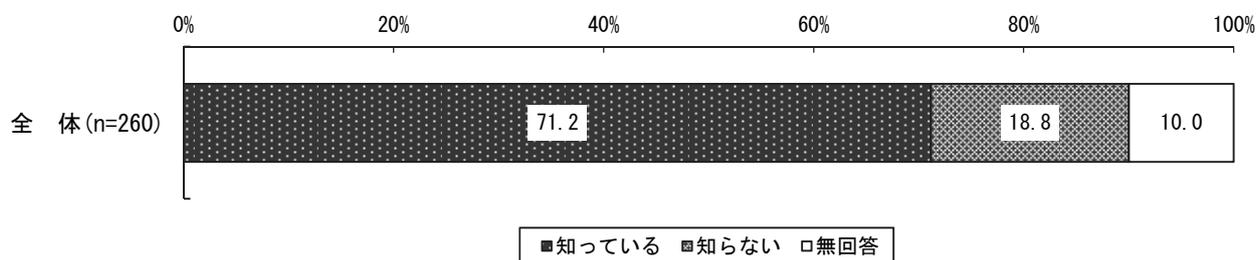
② 介護保険サービスを利用していない理由（複数回答）

介護保険サービスを利用していない理由は、「まだ利用しなくてもよいと思うから」が最も多く26.5%、「家族が介護してくれるから」(20.0%)、「介護認定をされているだけで安心感があるため」(15.0%)、「家族以外の人に家に入って欲しくないため」(9.2%)が続いている。



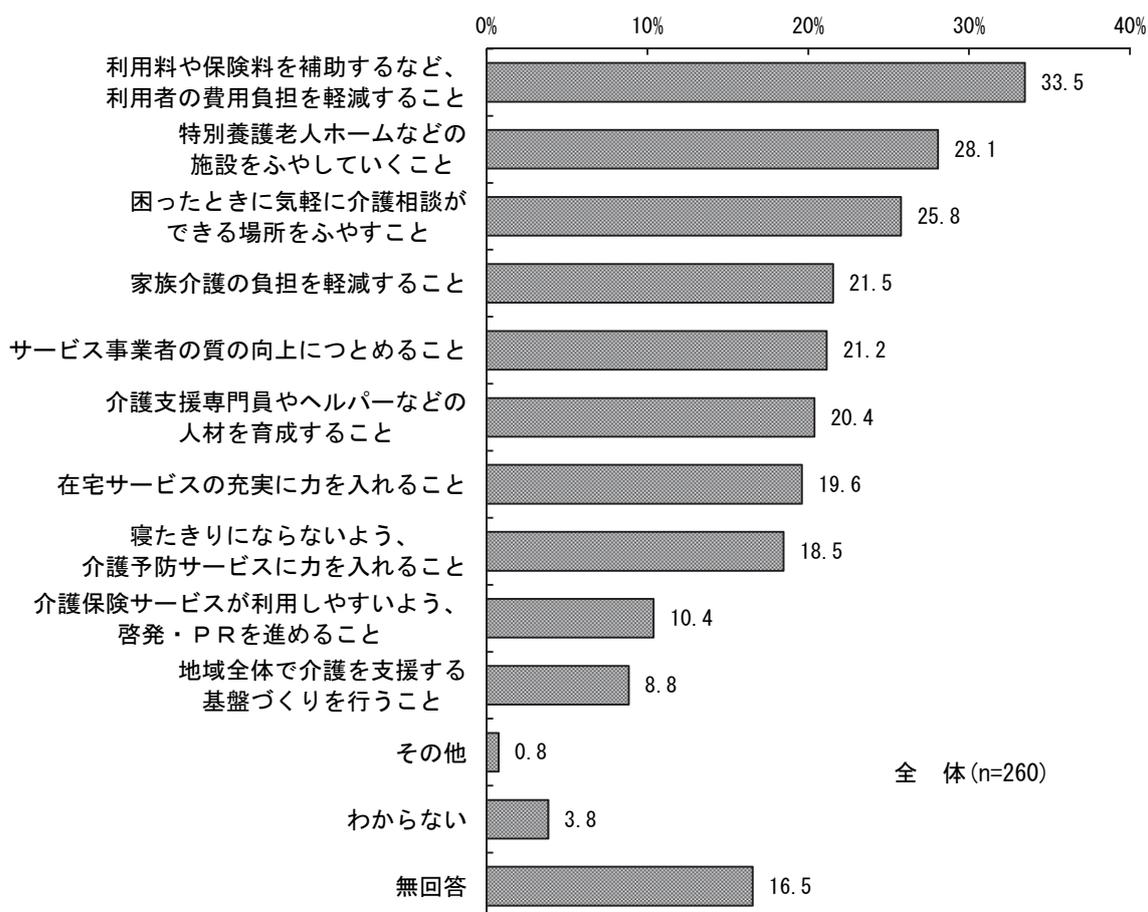
③ 地域包括支援センターの認知

地域包括支援センターの認知は、「知っている」が71.2%、「知らない」が18.8%となっている。



④ 介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと（複数回答（3つまで））

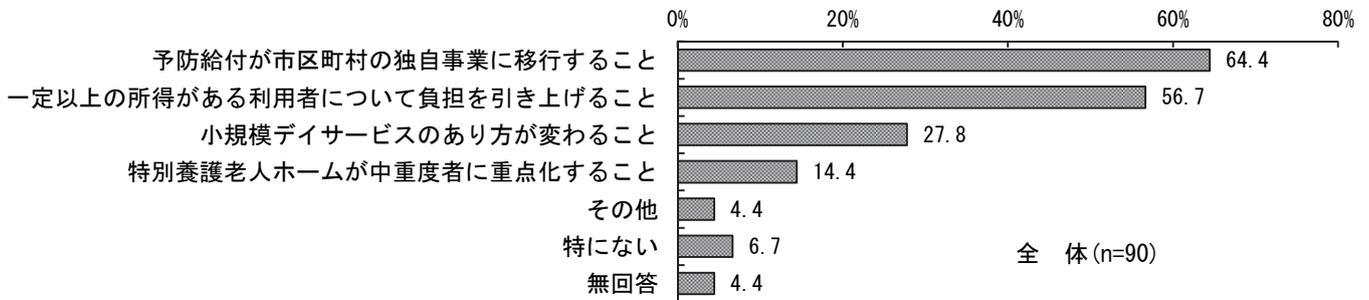
介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきことは、「利用者の費用負担を軽減すること」が最も多く33.5%、次いで「特別養護老人ホームなどの施設をふやしていくこと」（28.1%）、「困ったときに気軽に介護相談ができる場所をふやすこと」（25.8%）、「家族介護の負担を軽減すること」（21.5%）が続いている。



8. 介護保険サービス事業者調査

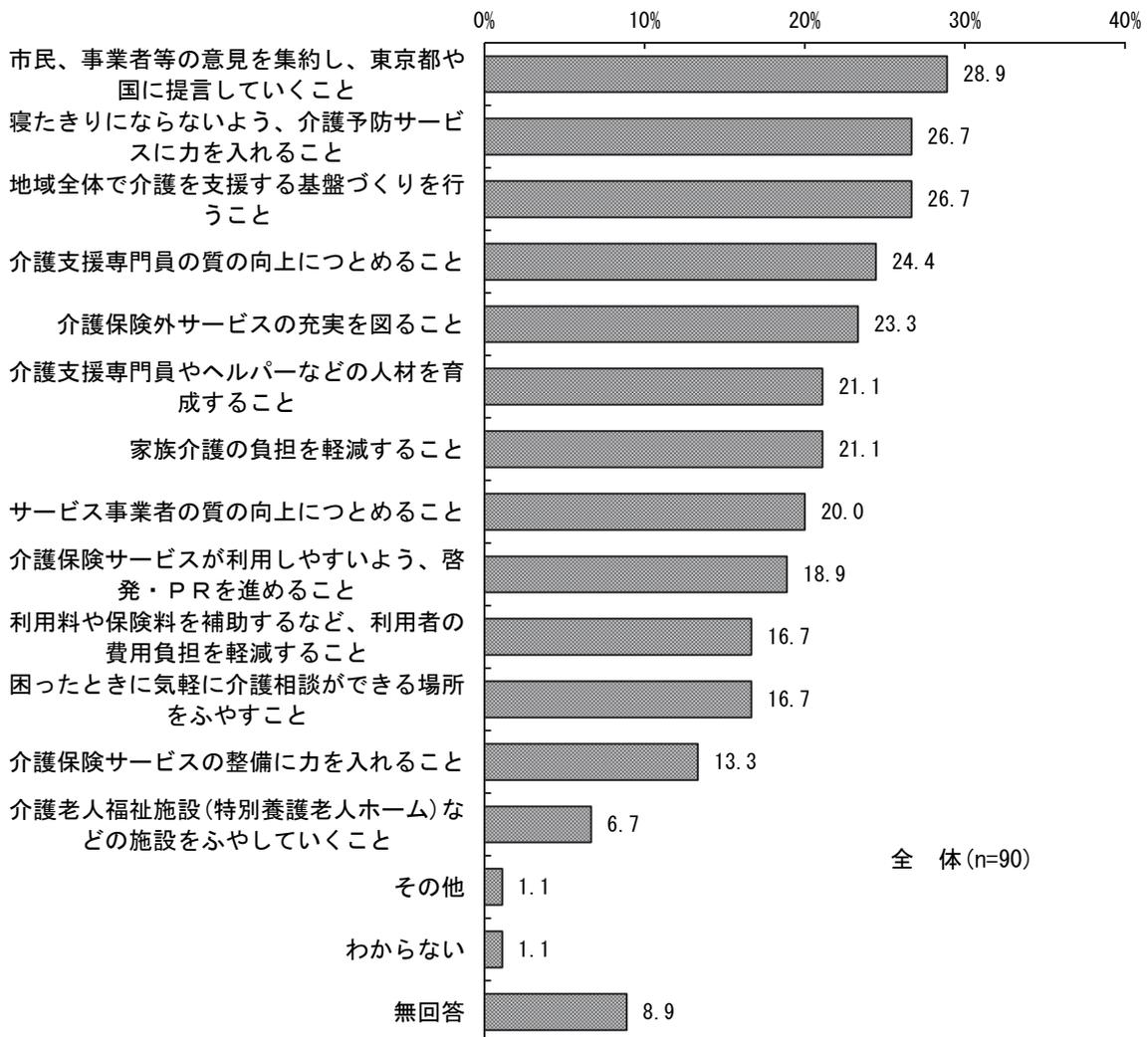
① 平成27年度の介護保険制度の改正による経営への影響予想（複数回答）

平成27年度の介護保険制度の改正により経営に影響があると予想される事項は、「予防給付が市区町村の独自事業に移行すること」が最も多く64.4%、次いで「一定以上の所得がある利用者について負担を引き上げること」（56.7%）が続いている。



② 介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと（複数回答（3つまで））

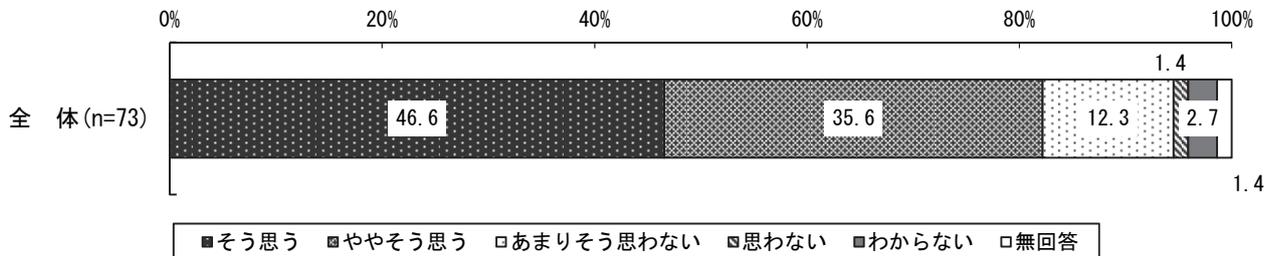
介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきことは、「市民、事業者等の意見を集約し、東京都や国に提言していくこと」が最も多く28.9%、「寝たきりにならないよう、介護予防サービスに力を入れること」「地域全体で介護を支援する基盤づくりを行うこと」（ともに26.7%）が続いている。



9. 介護支援専門員調査

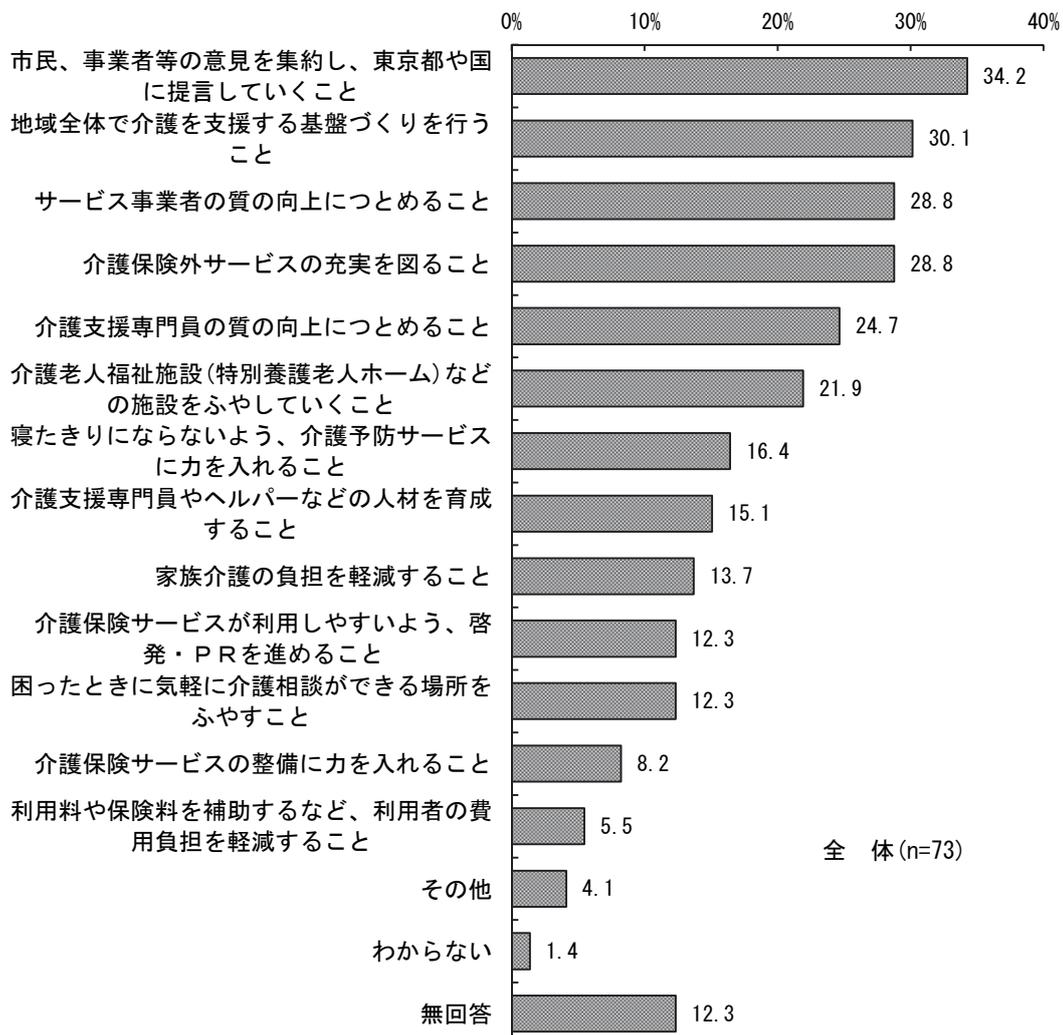
① 地域包括支援センターの評価

地域包括支援センターの評価視点として、自身の仕事に役立っていると思うかをたずねた。「そう思う」(46.6%)と「ややそう思う」(35.6%)の合計は、82.2%と8割を超えている。一方、「あまりそう思わない」(12.3%)と「思わない」(1.4%)の合計は、13.7%となっている。



② 介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと(複数回答(3つまで))

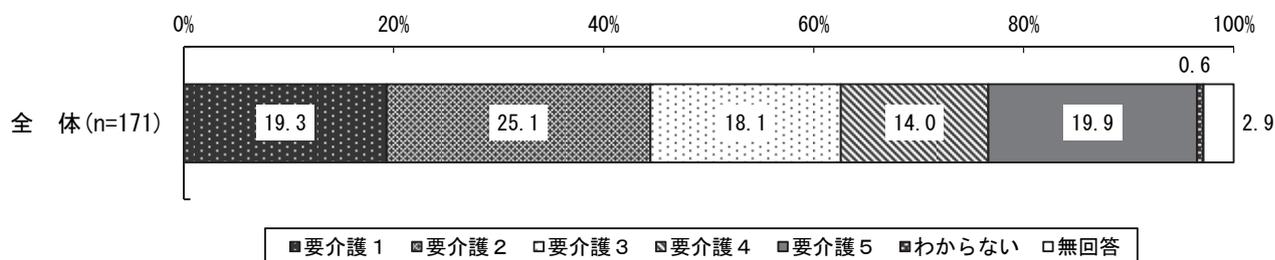
介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきことは、「市民、事業者等の意見を集約し、東京都や国に提言していくこと」が最も多く34.2%、「地域全体で介護を支援する基盤づくりを行うこと」(30.1%)、「サービス事業者の質の向上につとめること」「介護保険外サービスの充実を図ること」(ともに28.8%)が続いている。



10. 在宅医療と介護に関する調査

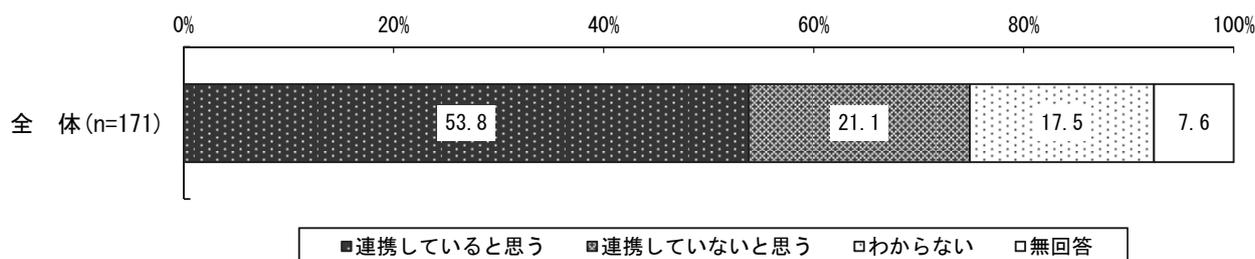
① 要介護度

調査対象者の要介護度は、「要介護2」が最も多く25.1%、次いで「要介護5」（19.9%）、「要介護1」（19.3%）が続いている。



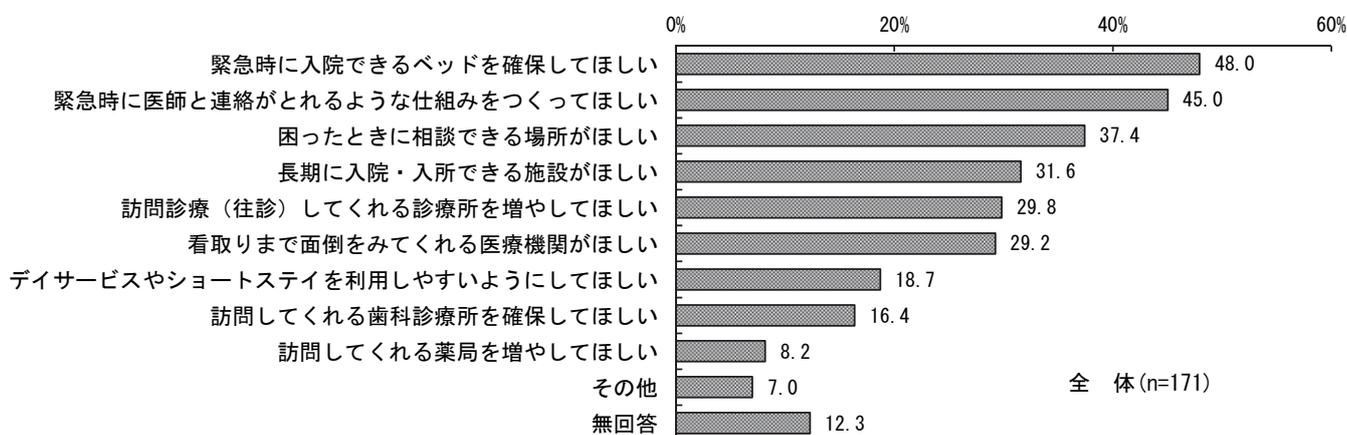
② 医療機関と介護サービス事業者の連携の状況

医療機関と介護サービス事業者の連携の状況は、「連携していると思う」が53.8%、「連携していないと思う」が21.1%、「わからない」が17.5%となっている。



③ 在宅での療養生活を継続するために希望すること（複数回答）

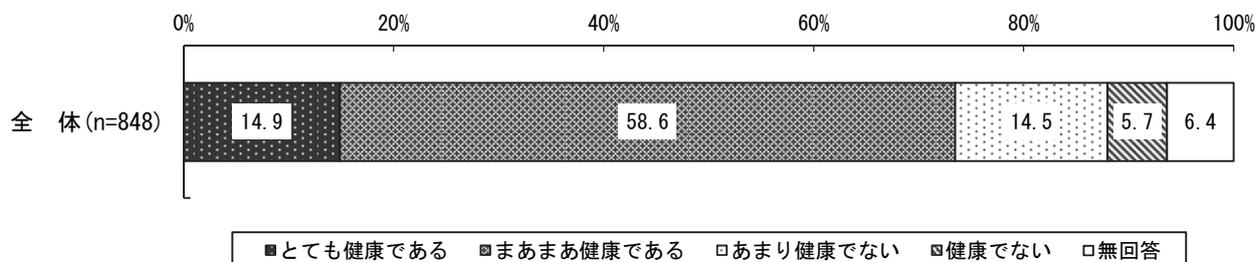
在宅での療養生活を継続するために希望することは、「緊急時に入院できるベッドを確保してほしい」が最も多く48.0%、次いで「緊急時に医師と連絡がとれるような仕組みをつくってほしい」（45.0%）、「困ったときに相談できる場所がほしい」（37.4%）、「長期に入院・入所できる施設がほしい」（31.6%）、「訪問診療（往診）してくれる診療所を増やしてほしい」（29.8%）、「看取りまで面倒をみてくれる医療機関がほしい」（29.2%）が続いている。



1.1. 日常生活圏域二一ズ調査

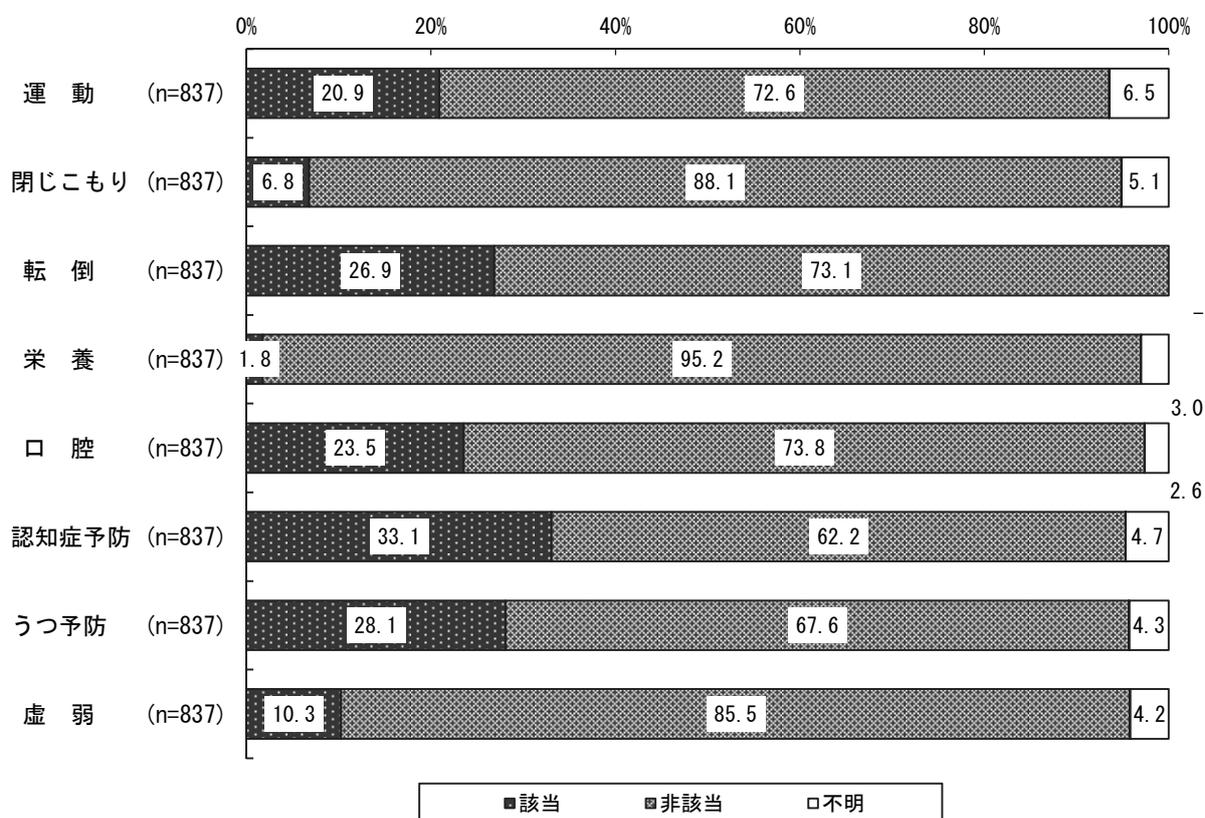
① 主観的健康感

主観的健康感は、「とても健康である」(14.9%)と「まあまあ健康である」(58.6%)を合計すると《健康》は73.5%となっている。「あまり健康でない」が14.5%、「健康でない」が5.7%となっている。



② 生活機能について

介護の原因となりやすい生活機能低下の危険性がないかどうかを判定する基本チェックリスト等に基づき分析を行ったところ、『認知症予防』の傾向が認められる人(該当)が最も多く33.1%、次いで『うつ予防』(28.1%)、『転倒』(26.9%)、『口腔』(23.5%)、『運動』(20.9%)までが、2割を超えている。以下、『虚弱』が10.3%、『閉じこもり』が6.8%、『栄養』は1.8%と傾向が認められる人(該当)は少なくなっている。



**西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）
策定のためのアンケート調査報告書(概要版)**

平成26年3月発行

発行 西東京市

編集 西東京市福祉部高齢者支援課

〒202-8555 東京都西東京市中町1丁目5番1号（保谷庁舎）

☎042-464-1311（代表）

西東京市のホームページ <http://www.city.nishitokyo.lg.jp>
